

2023年9月26日  
旭川地区バスケットボール協会U12部会  
技術委員長 中川 明  
(文責 矢野 寿典)

## 2023年度 夏期大会 総評

夏期大会は、新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、従来の予選リーグと決勝トーナメント方式で実施した、初めての大会となりました。各チームが団結し、気迫溢れる強いプレーが多く見られた素晴らしい大会でした。

課題としては、主に3つを挙げさせていただきます。

1つ目は、前回大会の総評にもあったように、マンツーマンディフェンスです。予測に基づくプレーが許容された事により、能力の高い選手が全体をカバーする事も増えましたが、ゴール下エリアに居座ってしまう状態も多くありました。原因としては、オフボールサイドのオフense (以下 OF) プレーヤーが動きを止めてしまい、ドライブに対する合わせや次のプレーの準備をしていない為です。周りの選手 (オフボール) が、ドライブに対する意識 (ダイブ・ドリフト・ドラッグなどの合わせの動き) を付けることで、マンツーマンの全体レベルを上げる事に繋がると思います。

2つ目は、スペーシングに対する理解です。スペースに対して飛び込むプレーは見られましたが、スペースを作るプレーが少ないと感じました。オフボールの OF プレーヤーがスクリーンやボールサイドカッティングを活用することで、DF を引きつけスペースを作ることができます。「意図的にスペースを作り、そこを上手く使って OF を展開すること」を理解すると、バスケットボールがもっと楽しくなると思います。

3つ目は、接触に対する強さです。当たりの強い DF に対しては、パワーポジションでの強いドリブルやピボットなどが必要です。予測によるヘルプの準備が早くなった分、接触が増えます。日頃の練習から接触が起きる事を想定し、正しいポジションを保ちながら、接触に負けないで打ち切るシュートや力強いドリブル、パスなどの練習に取り組んで頂きたいと思います。

選手権大会まで残り約2ヶ月を切りました。選手権大会は冬の全道・全国へ繋がる大会ですが、勝利だけを目標とせず、選手1人1人がそれぞれの目標に向かってバスケットボールに取り組んで頂きたいと思います。体調管理には十分気をつけて、心と体の準備をし、仲間と共に力を発揮するよう期待しております。

以上、今大会の総評とさせていただきます。